



富士見台

児童数配布

<http://www.fujimidai-e.nerima-tyk.ed.jp/>



学校教育目標 かしく やさしく たくましく

周囲の人たちとの調和を

副校長 角館 祥司

朝、校舎内外の見回りをしているとプールや水たまりに氷が張っており、一年で最も寒さが厳しい季節を感じます。

例年ですと、インフルエンザでの学級閉鎖が心配な頃ですが、今年はおミクロン株の感染拡大が急速に広がっており、学校においても十分な換気やマスク着用、手洗い・消毒の徹底等最大限の感染対策を続けております。保護者の皆様には、お子さんが、またはご家族が体調の悪いときは決して無理して登校せず、医療機関を受診していただくよう改めてお願いいたします。また、コロナ発生時にメールに示している「本人とその家族等の人権尊重や個人情報保護」に最大限のご配慮とご協力という思いやりの心を大切にしてくださいようお願いいたします。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止措置を図りながら教育活動を行ってまいりますので、ご家庭でも引き続きご協力をお願いいたします。

さて、学校で、学習・生活することについて少し書こうと思います。子供たちには学校は何か楽しいと聞きますと「勉強」と答える子もいますが、多くは、「友達と話すことや遊ぶこと」となるのではないのでしょうか。やはり、学校で生活することの意義・良さとは、一緒に共に関わって一緒に場を共有するということなのだろうと思います。

心身ともに成長を続ける子供たちにとって、自分のほかに他人がいることを理解することは大切です。人間は社会的な動物であるといわれるように、一人では生きていけません。だから、道徳があり、社会のルールがあり、人に対する思いやりの心をもつことが、人間らしさの基本であるといわれます。子供たちは成長するに従って、家族・友達・その他の人から刺激を受けて、社会の中では自分はどうに行動するのが正しいのかを学んでいきます。こうして、判断力が養われ、自分のなすべき役割を知り、責任感も育っていくのです。そのときの基礎となるものは、思いやりの心でなければなりません。自分勝手気ままにふるまってはいけないことを理解することによって、人間は自立の第一歩を踏み出すのです。思いやりとは、自分の身に比べて他人の身について思うことです。他人との調和によって、互いの違いやよさを認め、協力することが必要になってくるのだと思います。

本当に社会的に自立して行動できる人というのは、周囲に人との調和の中で何かをすることができる人です。人との関係の中で主体性をも発揮できることが自立です。

ICTが活用され、便利になってきましたが、直接、人と関わるといことが子供たちにとっては重要になってくるのだと思います。自分のほかに、多くの人がこの社会で生きています。子供たちには、やさしさを行動に表わせる人間の住む社会を作っていく人になってほしいと願っています。

日	曜	朝会	2・3月の行事
1	火	全	
2	水		社会科見学 (3年) →中止
3	木		
4	金	安	
5	土		
6	日		
7	月		クラブ (各学級で振り返り 下校 14:30 ごろ)
8	火	全	
9	水		
10	木		
11	金		建国記念の日
12	土		土曜授業日
13	日		
14	月		クラブ
15	火	全	
16	水		
17	木		
18	金	教員 訪問	避難訓練
19	土		
20	日		
21	月		にこにこタイム (3・5年) 午前授業
22	火	全	
23	水		天皇誕生日
24	木		にこにこタイム (2・4年)
25	金		にこにこタイム (1・6年) クリーンデー 保護者会 (高)
26	土		
27	日		
28	月		委員会 (最終)
3/1	火		保護者会 (中)
2	水		
3	木		
4	金	安	保護者会 (低)
5	土		
6	日		
7	月		クラブ (最終)
8	火	全	避難訓練 (中休み)
9	水		
10	木	児	

「百人一首大会」の取り組み

富士見台小学校では、特色ある教育の一つとして、百人一首の指導を行っています。百人一首に取り組むことを通して日本の伝統文化に親しませ、すべての学力の基礎となる言語感覚を育てることや、6年間で百首すべてを覚える中で根気強く課題に取り組む態度を養うことなどを目標にしています。

五首覚えるごとに10級、9級とグレードが上がっていき、百首すべて覚えると、全校朝会で「百人一首名人証」を校長先生から受け取ることができます。子供たちは「名人」を目指して、百人一首覚え表を使って、自分のペースで暗唱テストを受けています。

子どもたちの1年間の取り組みの集大成となるのが、百人一首大会です。今年度は1月下旬に実施予定でしたが、コロナ感染症対策のため、延期となっています。

来年度は実施でき良い結果が残せるよう、今後も百人一首に親しんで、暗唱に取り組んでほしいと思います。

文化的行事委員会 内田・伊達

「兄弟学年活動」の様子をお知らせします

今年度は、豊かな人間関係の構築、「顔の見える交流」を目指して「兄弟学年」の活動をしてきました。コロナ禍の中、安全性を考えながら交流を行ってきました。各兄弟学年から交流の様子をお伝えいたします。

【1年生と6年生】

6年生は、1年生との交流をとっても楽しみにしています。自分たちが1年生だったときの6年生のように、1年生に接しています。班ごとに、活動の内容を考えるときには、「1年生も分かるだろうか。」「1年生も楽しめるだろうか。」と考えて、内容を工夫しています。遊びのときには、1年生にとっても優しく、一緒に楽しく遊んでいます。1年生も安心して、兄弟学年活動の時間を仲良く過ごしています。

【2年生と4年生】

4年生は、自分たちが上級生として活動する、初めての年です。「2年生が楽しめるように。」を合言葉に、「だるまさんが転んだ」や「長縄跳び」などの遊びや、遊び方の説明を考えました。当日は2年生も4年生もたくさんの笑顔が見られ、充実した時間が過ごせたようです。2年生からは「4年生が優しくしてくれて嬉しかった。」、4年生からは「分かりやすく教えることが難しかったけれど、2年生が楽しんでくれてよかった。」などの感想が聞かれました。

【3年生と5年生】

3年生と楽しい交流ができるよう、5年生が遊びを考えて準備をしました。当日は5年生がすすんで3年生をまとめ、「絵しりとり」や「王様ジャンケン」などの遊びを楽しんでいました。班対抗の「ドッジボール」では、3年生と5年生で協力する姿が見られ、より交流が深まったようです。3年生からは「5年生と遊べて楽しかった。」「次に5年生に会えるのが楽しみだな。」などの感想が聞かれ、次に5年生と会えるのを楽しみにしていました。

お知らせ

1月に配付しました「相談室だより」の心のふれあい相談員来校日ですが、2月11日（金）23日（水）3月21日（月）は国民の祝日のため相談室は開室していません。